

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆1～6月の倒産件数、13年ぶり高水準に 物価高・人手不足が淘汰圧力

・東京商工リサーチが発表した2026年上期の全国の企業倒産件数(負債1000万円以上)は前年同期比7%増の5346件と、13年ぶりの高水準に。物価高と人手不足による賃上げ圧力で、経営体力のない中小企業が淘汰されている。負債総額は6%増の7340億円だった。中小・零細企業の倒産が多く、従業員10人未満が4844件と全体の9割を占めた。

◆6月の街角景気、2カ月連続上昇 判断「持ち直しの兆し」に上方修正

・内閣府が発表した6月の景気ウォッチャー調査(街角景気)は足元の景気を聞いた現状判断指数(DI、季節調整値)が前月と比べて0.4ポイント高い44.0となった。2カ月連続で上昇した。基調判断は「持ち直しの動きに弱さが見られる」から「持ち直しの兆しが見られる」と、2025年10月以来の上方修正となった。

◆5月経常黒字、19.5%増の3.9兆円 訪日客減でサービス収支は赤字

・財務省が発表した5月の国際収支統計によると海外とのモノやサービスなどの取引状況を示す経常収支は3兆9683億円の黒字。黒字額は前年同月比で19.5%増。訪日客の減少が響き、サービス収支は赤字。経常黒字は16カ月連続。貿易収支は69億円の黒字。中国向けの半導体などの電子部品や、米国への自動車の輸出が増。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ノーリツに下請法違反で勧告 公取委、金型無償保管で

・下請け企業に金型を無償で保管させたことは下請法に違反するとして、公正取引委員会はガス給湯器大手のノーリツに再発防止と保管費用の支払いを勧告。公取委によると、同社は遅くとも2023年6月以降、ガス給湯器などの部品を長期間発注しないにもかかわらず、下請け企業41社に対し、金型など計5242個を無償で保管させた。

◆家電量販5社が6月全社減収、25年7月以来 気温伸びずエアコン低迷

・ヤマダホールディングス(HD)など家電量販5社の6月の売上高がでそろった。全社が前年同月比でマイナス。全社減収は2025年7月以来。気温が上がらず、各社の業績をけん引してきたエアコン販売にブレーキがかかった。エアコン需要の停滞が業界全体の販売実績を押し下げた。最も減収幅が大きかったのはJoshinで、全店売上高は11.9%減。

◆伊藤忠とダイキン、エアコンからアルミ回収 脱中東依存へ資源循環網

・伊藤忠商事はダイキン工業と使用済み業務用エアコンからアルミニウムなど金属を回収する事業を始める。アルミは約3割を中東から輸入。中東緊迫でサプライチェーンが混乱するなか、国内の資源循環の体制を手厚く。伊藤忠子会社の伊藤忠メタルズが商業施設やオフィスビルからダイキン製の使用済みエアコンを回収。

《 注目商品 》

■TOTO、すべての住宅用ウォシュレットを瞬間式化

・ウォシュレット一体形便器「GG-800」およびマンションリモデル用「GG(壁排水タイプ)」をモデルチェンジし、新たに「瞬間式ウォシュレット」を採用した商品を8月3日に発売。これにより、すべての住宅用ウォシュレットが「瞬間式」に切り替わる。



■LIXIL「Noct(ノクト)」 「Shiera(シエラ)」家具のように空間に調和するキッチン

・「Reラックスキッチン」として心地よい居場所を提供。意匠性と耐久性を兼ね備えた新素材ワークトップ「リテックス トップ」を導入。シンプルなスクエア型のシンクと組み合わせ、継ぎ目を丁寧に仕上げることでシームレスなデザインを実現。



■住友ゴム工業、スリム化した住宅用制震ダンパー

・高減衰ゴムを2面から1面に変更し、スリム化した住宅用制震ダンパー。本体設計の工夫により、耐力壁や柱脚を固定するホールダウン金物との併用が可能となり、コンパクト住宅など多様な条件での設置に対応。

